

三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験2024の報告

これまでの経緯・背景

2017年策定の街づくりビジョンに位置づけられた「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」を目指し、三鷹駅北口にふさわしいにぎわいを創出するため、2019年から継続的にパブリックスペースを活用した社会実験を実施しています。

実施にあたっては、交通体系の再編を含む将来的な駅周辺の再整備を見据えながら、民間主導の取組みを支援する観点に加え、地域連携による沿道の魅力づくり、居心地のよい街なかの形成を目指し、企画・調整してきました。

2017年度

三鷹駅北口
街づくり
ビジョン

三鷹駅北口地区の概ね10年後の目標像を描き、3つの視点から街づくりの方向性と考え方、その実現に向けた取り組みを示しています。

2018年度

三鷹駅北口
街づくりラボ
(三鷹ラボ)

既存の公開空地や道路空間などのパブリックスペースの活用について、講話や視察、ワークショップなどを通して、地域の事業者・住民・企業の方々とともに学びました。

社会実験検討

2019年度～

三鷹駅北口
パブリックスペース
利活用社会実験

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを活用した、地域連携によるまちづくり、にぎわい創出の検証を行いました。

2019年

交通規制(車両通行止め)を伴う
車道のイベントの利用(4日間)

2020・2022・2023・2024年

歩道の余裕空間を活用した民間主導の
日常の利用(2020年:47日間、2022年:52
日間、2023年:68日間、2024年:46日間)

社会実験の継続

交通体系の検討

社会実験の実施概要

ENJOY!
OPEN TERRACES 武蔵野

開催趣旨

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを活用した地域連携による居心地のよいまちづくり
多世代・日常的な滞在空間創出の検証

協力

易木屋、キャラドウ、薬局トモズ三鷹北口店、京樽・スシロー三鷹北口、(有)三協住宅社、(株)クラウンベーカーリー三鷹店、三鷹あゆむ整骨院・鍼灸院、肉汁餃子のダンダダン三鷹店、中華料理安楽、住友不動産(株)、三鷹駅北口街づくりラボ、三鷹駅北口商店会、八丁商和会、武蔵野市中央地区商店連合会(順不同)

実施期間

2024年10月1日(火)
～11月15日(金)

実施場所

中央大通り沿いの
10店舗前(右図)
の歩道

実施内容

参加店舗による
歩道上への
カフェセット(誰でも
利用可能)の
設置・管理・運営

三鷹駅北口周辺を「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」とするため、歩道上にテーブルやイスを設置して、街なかでのちょっとした休憩や、沿道飲食店を利用しやすい環境づくりに取り組みました。
今年度は、参加店舗数が例年に比べて大きく増えました。



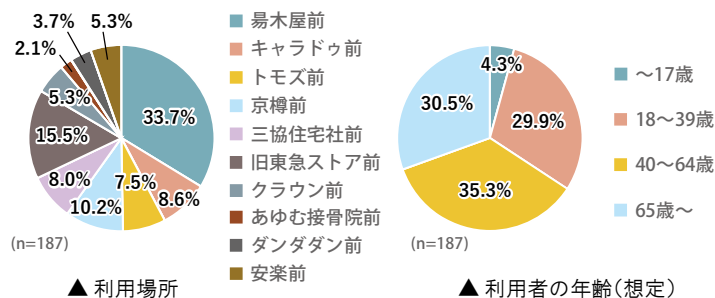
▲ 位置図



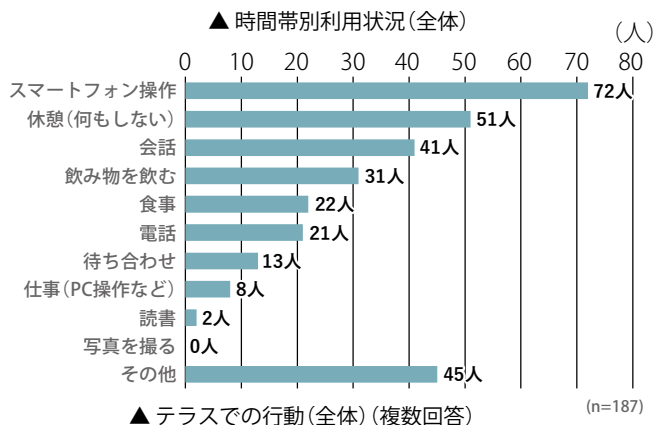
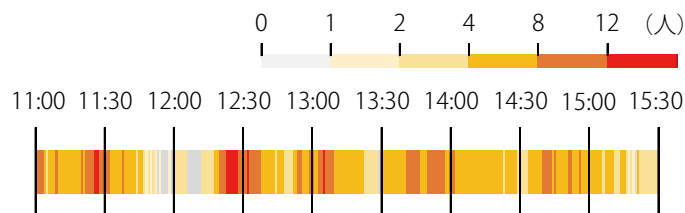
社会実験の結果

利用状況

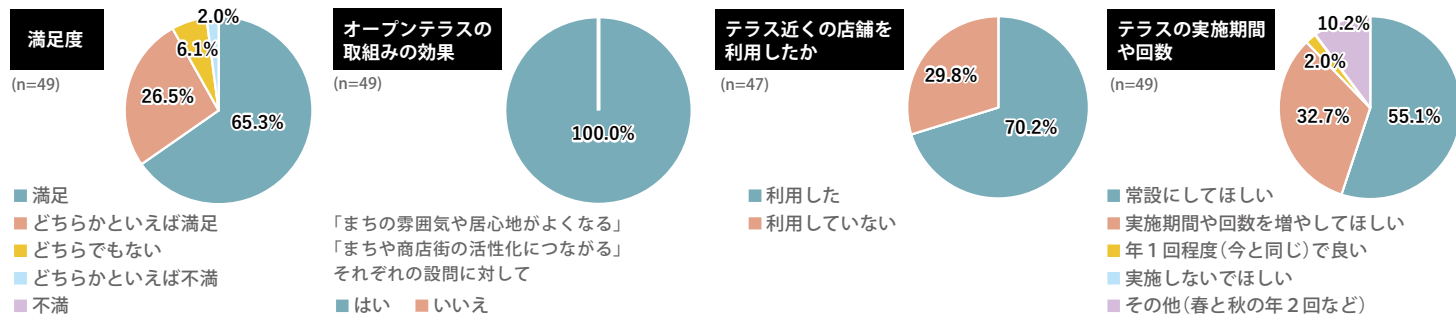
○調査日 令和6年11月1日(金) 11:00～15:30
○設置数 カフェセット 24 + 周辺の既存ベンチ 3



調査日の利用者は、時間中187人で、11:30前後及び12:30前後の時間帯に多くの人利用していました。利用者の年齢(想定)は幅広く、易木屋前(33.7%)、旧東急ストア前(15.5%)の利用が多く見られました。また、利用目的としてはスマートフォンのご利用、休憩、会話、飲食などが見受けられました。



アンケート結果



アンケート結果を見ると、9割以上の方が満足と回答し、回答者全員がまちの雰囲気や居心地が良くなる、まちや商店街の活性化につながると回答されています。また、テラス利用者の7割以上の方が近くの店舗を利用していました。さらに、テラスの実施期間や回数について、5割以上の方が常設にしてほしいと回答されています。

利用者の声

- ・毎年楽しみにしています!
- ・座っているだけでもハッピーな気持ちになれます。この街が大好きになりました。
- ・愛犬と一緒に利用できてとても嬉しい。
- ・周辺の景観にも目が行くのでとても良い。
- ・もっと座る気が起きるようなおしゃれさが欲しい。

参加店舗の声

- ・利用者が敷地内の店の看板やのぼり等を見てくれたので一定の宣伝効果があった。
- ・テイクアウト待ちの人が店内ではなくテラスで待っていたり、テラスでそのまま食べて帰ったりしていた。
- ・買物客に休憩場所の提供ができ、店としても地域貢献となつて良かった。
- ・悪天候日の維持管理に苦労したのでもっと組み立てや管理が容易なものにできると負担が少ないと感じた。

今後の事業実施に向けて

社会実験を通じて、本事業の効果を確認しています。パブリックスペースを活用した事業展開には、持続可能な仕組みづくりの構築が必要です。地域の企業や団体、商店会、行政などが連携し、地域の魅力向上、居場所づくり、三鷹駅北口ならではの賑わいの創出につながるよう、引き続き、官民が一体となって取り組んでいきます。

